

8 学位論文審査基準

1. 専攻した医学・生命科学の領域に関して、深い専門的知識を有している。
2. 医学・医療と生命科学や環境科学との融合領域・学際領域の広い学識を有している。
3. 自らの研究歴あるいは臨床経験に基づいて、一定期間に完遂可能な、新たな研究テーマを設定することができたと判断される。
4. 自らの研究テーマに基づいて、実験や調査の具体的かつ現実的な計画を立案し実施できたと判断される。
5. 自らの研究成果を発展させるために、新たな研究テーマを設定し、今後の研究計画を立案する能力を有している。
6. 自らの研究成果を、医学・生命科学のグローバルな展開あるいは地域医療の持続的な発展に生かそうとする積極性を有している。
7. 実験室や調査フィールドあるいは臨床の場における実践的な経験に基づいた、医学者としての研究者倫理を有している。
8. 自立した医学研究者として、学会での発表者および論文の著者としての責任感を有している。
9. 自らの研究成果を客観的に分析し、目的・背景・研究方法・結果・考察、さらに今後の発展の可能性について口頭で発表し討議する能力を有している。
10. 自らの研究成果について、国際的に通用する形で発表する能力を有している。